

第 41 回 北九州脳卒中地域連携パス協議会

議事録

開催日：2022 年 10 月 8 日（土）

場 所： ステーションホテル小倉

出席した登録医療機関：別紙参照

司会：産業医科大学 リハビリテーション医学講座 教授 佐伯 覚 先生

議事内容：

◆北九州脳卒中地域連携パス協議会事務局 幹事、越智より以下の内容について報告した。

- ・地域連携パスの協議会委員の連絡先につき確認をするようお願いした。
- ・オンライン面会の予定・事前アンケートにつき報告した。

事務連絡：

② 委員の先生の移動、退職などの際には、委員変更届の提出するようお願いした。

②これまで同様、パス使用時はコピーを下記北九州市医師会へ FAX または郵送をして頂きたい。

〒802-0077 北九州市小倉北区馬借 1-7-1

北九州市医師会内 北九州地域連携運営委員会

FAX 093-513-3816

③連携パスへのご意見やご要望があれば併せて下記までご連絡頂きたい。

〒807-8555 北九州市八幡西区医生ヶ丘 1-1

北九州脳卒中地域連携パス協議会事務局（産業医科大学リハ医学講座）

担当職員：天野陽子、事務局幹事：越智 光宏

Fax: 093-691-3529 E-mail: reha@mbox.med.uoeh-u.ac.jp

④報告事項：

- ・新規登録医療機関の紹介として、入院連携医療機関に健和会京町病院が登録されたことを報告した。

◆産業医科大学 大学院医学研究科 医学専攻 下鶴より以下の内容について報告した。

・2023 年 3 月の Stroke 2023 でパスデータを用いて研究発表する旨を伝えた。発症時の平均年齢は 74.7 ± 12.1 歳であった。重症度別の急性期及び回復期病院の平均在院日数は、重症度が上がると延長傾向にあった。重症度別の回復期病院退院時 FIM 合計点は重症度が上がると低下する傾向にあった。重症度別の FIM 利得は、中等症で高い傾向にあった。重症度別の病型割合は、重症度が上がると脳梗塞の割合が減少し、脳出血の割合が増加していた。

文責 北九州脳卒中地域連携パス協議会

幹事 越智 光宏

2022年10月8日開催

第41回北九州脳卒中地域連携パス協議会

委員登録出席医療機関：

新小文字病院	門司メディカルセンター	北九州総合病院
九州労災病院	福岡新水巻病院	北九州市立八幡病院
製鉄記念八幡病院	JCHO九州病院	産業医科大学病院
健和会大手町病院	北九州市立医療センター	戸畑共立病院
新中間病院	小倉リハビリテーション病院	大手町リハビリテーション病院
くらて病院	産業医科大学若松病院	香椎丘リハビリテーション病院
新小倉病院	北九州中央病院	北九州安部山公園病院
北九州宗像中央病院	北九州市立門司病院	正和なみき病院
北九州八幡東病院	戸畑リハビリテーション病院	遠賀中間医師会おかがき病院
新生会病院	小倉きふね病院	正和中央病院
東筑病院	大原病院	浅木病院
権頭クリニック	しんむら医院	沼本町病院
宮田病院	済生会くれたけ荘	